

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	町 智圭	学校名	神戸市立星陵台中学校
実施学年	第1学年	教科	理科
单元名	動物の特徴と分類		

《学びを深めたいポイント》

1. 分類の力を育てる

ちりめんじゃこの中に混ざっている小さな生き物(チリモン)を見つけて、既習内容をもとに「魚類」「甲殻類」「軟体動物」「その他」などに分類されるかを導き出すこと。

ただ見つめるだけではなく、「どのような特徴で分類するか」を自分で考えること。

2. 観察力を高める

ルーペやピンセットを用いて、形や色、足の数などの細かい観察すること。

これは何だろうと考えることで、科学的な探求への第一歩につなげること。

3. 同定(名前を調べる)活動

図鑑や Web 資料を使って、見つけた生物を同定すること。同定することで生物への興味につながり、海洋における生物多様性について考えさせるきっかけにすること。

《SKYMENU 活用のポイント》

1. 既習内容の活用

SKYMENU 上で分類表や写真を共有し、視覚的に理解を深める。

2. グループ活動による対話の促進

SKYMENU の「発表ノート」や「提出箱」機能を使って、班ごとの意見を共有する。

他の班の考えを参照しながら、自分たちの分類方法を見直すことで、対話的で深い学びを実現する。

3. ICT を活用した協働学習

タブレットを使って、ちりめんモンスターの写真を撮影・分類を行う。

SKYMENU で資料を整理し、発表資料としてまとめる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	前時の復習（無脊椎動物）の確認を行う。 海の世界連鎖について 海の中にはどのような生き物がいるだろう か？ ⇒観察したことはある？ ⇒チリメンジャコって知っている？		
展開	ちりめんモンスターを観察して分類しよう！		
	グループごとにちりめんモンスターを配布し、分類する。 教科書を見ながらどこに注目すればよいか確認しながら行う。	教師から配布された発表ノートを開き、自分で観察したものを写真に撮ったり、特徴を調べたりしてまとめる。	学習者同士で見られるようにすることで、常に他者参照することができ、分類ができないものや、まとめ方が分からない生徒への手立てにする。
	チリメン図鑑を作ろう！		
	仲間分けしたちりめんモンスターをスケッチして名前や特徴を調べる。	種類の同定が難しい場合は気づきメモを利用し、周りからの意見を得る。	自分でレイアウトを変更することを許可し、オリジナルの図鑑を作らせることで、生徒の満足度や達成感を高める。
まとめ	以下の2点をまとめる。 チリメンジャコができるまで 海の世界連鎖やプランクトンについて 【海の中には多くの種の生き物が生息している⇒生物多様性】 SDGsや総合の学習につなげる。	発表ノートを仕上げて提出する。	他者がどのようなレポートを仕上げているのか見ることができるようになる。

お気に入りのチリモンを写真に撮ってまとめよう！



- ・大きさはチリモンの中で大きめ
- ・黄色っぽいところ、銀色のところ、黒っぽいところがある
- ・黄色っぽいところが多い
- ・特徴的に魚類
- ・たくさんいた
- ・頭部が大きい
- ・ひれは小さめ
- ・尾びれから頭部にいくにつれて大きくなる
- ・たぶんテンジクダイのなかま

お気に入りのチリモンを写真に撮ってまとめよう！



〈アイゴのなかま〉
特徴：海藻をよく食べる
体長：稚魚は2mmから3cmくらい
住んでいる場所：暖かい海の沿岸、岩がある海、海藻がたくさん生えている海にいる
別名：ラビットフィッシュ(うなぎという意味)

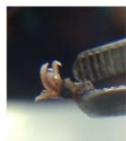
- ・くすんだ黄色や黄緑色をしている
- ・頭が大きめで、尾が小さい
- ・目が真っ黒
- ・口が角ばっていて、特徴的

お気に入りのチリモンを写真に撮ってまとめよう！



たくさんのちりもんがありました。すごく小さいエビと、すごく小さいこがりました。形は、しおれていてすごく小さい5mmか8mmぐらいだと思う。エビは3mm、タコも一緒に3か4だと思う 魚類がたくさんあった

軟体動物は、とても小さくて、タコの色は赤です2mmか1mmぐらいだと思う



お気に入りのチリモンを写真に撮ってまとめよう！



①たこのなかま(ちびたこ)

長さ…9mm
色…赤黒い色
目…4個くらいある 目の大きさ…1, 2mmくらい

②えびのなかま(ちびえび)

長さ…4mm
色…鮮やかなオレンジ
目…2個くらい 目の大きさ…小さすぎてわかんない!!

《実践を振り返って》

今回の授業では、SKYMENU を活用することで、生徒の主体的・協働的な学びを促進することができました。特に「発表ノート」や「気づきメモ」の機能を活用することで、生徒が自らの考えを可視化し、他者と共有・比較する場面が増えた。

また、授業の終盤には「振り返りシート」を SKYMENU 上で提出させることで、学習内容の定着と自己評価を促した。生徒からは「自分の考えをまとめやすかった」「友達の見解を見て新しい視点に気づけた」といった声が多く聞かれ、ICT を活用した学びの効果を実感することができた。実験や観察の結果を写真に残すことができるのも利点で、あとで振り返りの学習に用いることもできるため、今後の夏休みの課題の自由研究や探求レポートにも生かしていきたい。さらに探究的な学びを深めるために、SKYMENU の「ラボノート」機能積極的に取り入れていきたいと考えている。

総合学習や道徳学習においてもさまざまな活用例が存在するため、まずは自分自身がスカイメニューに関する知識を身に付け、そして積極的に授業に取り入れて生徒の活動を増やせる取り組みを実施していきたい。

◎ 授業風景写



